

10月17日(水)、伊台小近くのJAに12名の参加者が集合。本日の伊台・五明地区文化財めぐりは、公共交通機関の利用が難しく、自家用車3台に分乗して安全運転に心がけての出発となった。案内役は、当初姫山支部の門屋哲也先生で、下見もされて昼食会場も予約を入れ準備万全であったが、急に入院されることになってしまった。八坂支部の渡部英綱先生が講師役を受けて下さり、予定通り文化財めぐりを実施する運びとなった。

まず、「客王神社」へ。ここは、宝永2年(1705年)に神楽殿を建立。享保2年(1802年)に本殿を改築した。明治39年に日露戦争の戦勝記念碑を建立。又、三輪田米山書による注連石「一指・天地」も門前にある。



秋日和の緑濃い伊台の風景を楽しみながら車を走らせる。着いたのは「西法寺」。ここは、薄墨桜で有名。花期は4月上旬。普通の桜より10日程遅れて咲く。花卉は20枚で大きい。松山市の天然記念物として市指定の文化財となっている。伊予節や伊予万才の中にも歌われている。山門前には、柳原極堂直筆の句碑も立つ。若手の住職さんの詳しい説明もあり、みんな聞き入っていた。



車列を連ねて、五明地区へ移動する。途中、湯山の「水力発電所」を見学。小さい施設ながら、今でも1,000Kwは発電しているとの事で、伊予鉄道が走った当時の電気をここから送ったそうで、今も現役で動いている。

最後のコースは、藤野町の天台宗「円福寺」。貞観13年(871年)に大干ばつがあり、同年6月に雨乞いをする空は曇り大雨がふったといわれ、その後、この寺が雨乞い祈祷所となったという。明治28年、夏目漱石がここを訪れて、「山寺に太刀をいただく時雨哉」「つめたくも南蛮鉄の具足かな」と昔をしのぶ名句を残している。



歩き疲れて、お腹も減ってきた。寺のすぐ横にある食事処を予約していたので、さっそく大広間に座る。お勧めの「うどんとカツオ天井セット」を注文。食後のコーヒを楽しみながら談笑が続いた。天気にも恵まれ、有意義な文化財巡りとなった。詳しく説明して頂いた案内役の八坂支部渡部英綱先生に感謝!!



11月のお知らせ 四国中央市・新居浜市方面の文化財を楽しむ旅行

日時 11月7日(水) 集合場所・時間 イヨテツ高島屋前広場午前8時 ※費用6,000円

① 八幡神社・二州碑 ② 紙のまち資料館 ③ 紙すき・水引き細工の体験 ④ 広瀬邸